



地方創生
ジェンダー平等社会の実現
三島久美子
(無所属)

質問 コロナ禍における本市の地方創生について、ICTを活用した取り組みは。

答弁 地方創生への取り組みを推進する中で、ICTの活用も有効だと認識しているが、直接顔を合わせ、ぬくもりを感じられることも重要な要素だと考えている。本市としては、コロナ禍における生活様式の変化などを踏まえ、さまざまなツールを活用し、感染予防対策を徹底しながら、地方創生の取り組みを引き続き推進していきたい。



スケートボード人口増加に伴う今後の取り組み
清水明夫
(新風会)

質問 吉井運動公園はスケートボードが可能であるが、その利用状況は。

答弁 8月に約180人、9月に約420人、10月に約640人、11月には約740人と多くの人が利用している。

また、吉井運動公園のローラースケート場で活動する有志により設立された高

質問 性的少数者のパートナーシップ制度を導入するべきと考えるが、本市の方針は。

答弁 令和2年10月時点では、全国で60の自治体が入入っており、県も年内の導入を発表した。この制度は人権に関わるため、自治体によって対応が異なるべきものではないと認識している。そのため、現時点では導入予定はないが、今後の国の検討状況や取り組みを注視したいと考えている。



交通弱者に対する移動支援
林恒徳
(市民クラブ)

質問 おとしよりぐるりんタクシーを他の地域へ展開する考えは。

答弁 高齢者等の交通弱者への足の確保は、本市においても重要な課題であることから、高齢化率の高い地域に注目し、倉淵、榛名、吉井地域から本事業を開始した。今後のルートの見直しや拡大については、地域からの要望や財政状況などを注視しながら検討していきたい。



おとしよりぐるりんタクシー

看板等が設置可能な場所には、スケートボード使用禁止の看板を設置し、注意を呼び掛けている。



人と動物が共生できる環境づくり
丸山寛
(公明党)

質問 多頭飼育の苦情と動物虐待の通報件数は。また、その現状と対策は。

答弁 昨年度は、多頭飼育の苦情が12件、動物虐待が18件あった。動物虐待の多くは多頭飼育の現場で発見され、ふん尿の掃除をしていないなど、不衛生な環境で飼われている事例が多い。本市では、多頭飼育の中で不妊去勢手術をせず放し飼いにしていた事案を解決した事例があり、今後も早い段階での対応を心掛け、粘り強く対処したい。



質問 避難所におけるペットの取り扱い。

答弁 本市では、ペットを同行しての避難を可能とし、飼育者の責任の下、体育館などの軒下において、リードの装着やケージ内での管理をお願いしている。なお、補助犬を除き、避難スペースへの入室は原則断わっている。今後、車中避難所の選定を進めるとともに、ペット同伴型避難所についても他市の事例を参考にしながら研究していきたい。



高齢者の移動支援の新たな仕組み
子どもが気軽に利用できる公民館

質問 おとしよりぐるりんタクシーの路線を拡大する考えは。また、高齢者の移動支援として福祉ムーバーを導入し、連携する考えは。

答弁 高齢者等の交通弱者への足の確保は重要な課題と考え、高齢化率の高い地域から事業を始めた。他の地域への路線拡大は、地域からの要望や財政状況などを注視しながら検討したい。



特定家畜伝染病対策
樋口哲郎
(新風会)

質問 CSF(豚熱)の発生による防疫措置の経過と内容は。また、現場での本市の支援体制は。

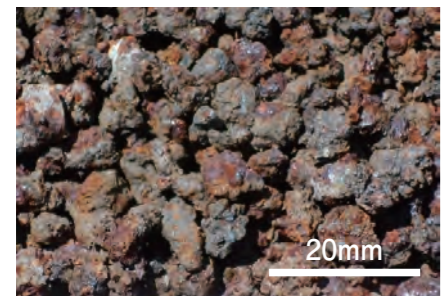
答弁 9月26日にCSFの陽性が確定し、豚の殺処分が開始された。10月1日に殺処分が終了し、9日に消毒作業を含めた全ての防疫措置が完了した。市は、県が主体となって行う防疫措



有害スラグ撤去に向けた取り組み
依田好明
(日本共産党)

質問 住宅の敷地などに使用された有害スラグを早期に撤去すべきと考えるが、現在の撤去状況は。

答弁 非鉄スラグの使用が確認された市内103カ所のうち、11月末時点で83カ所の撤去作業が完了している。残りの使用箇所についても、立入禁止や注意喚起の措置が講じられており、関係者からは、個人宅等の民有地を優先して、順次撤



非鉄スラグの例



児童虐待の防止
白石隆夫
(新風会)

質問 こども救援センター開設後1年間の相談状況は。

答弁 令和元年10月1日に開設したこども救援センターへの相談は、2年10月末までに1629件あり、その内、児童虐待として受理した件数は273件である。開設前と比較し、それぞれ286件、69件増加した。

質問 本市独自の児童相談所を開設するための進捗状況は。また、開設による児童虐待への対応の変化は。

答弁 本年度から、こども救援センターに企画担当を

引き続き指導していく。

質問 松之沢メガソーラーや榛名山中腹の資材置場にある有害スラグの撤去計画書は提出されているか。

答弁 関係者から当該地域の非鉄スラグの撤去計画書が提出された。市では、計画書の内容を精査するとともに、引き続き撤去・回収等の対策を講じるよう非鉄スラグの全面的な撤去に向け、適切な指導を行いたい。

